

千歳山松林再生プロジェクト記念植樹祭を開催!!!

- 平成20年11月11日、早朝からかかっていた霧は、開会式にあわせたかのように消えて、青空のもとで植樹祭を開催することができました。



挨拶をする市川山形市長(写真右)と関下山形森林管理署長(写真左)

- 当日は来賓の市川山形市長をはじめ、地元滝山小学校4年生141名や市民ボランティアの方々を含め、約200名が集まりました。

病気に負けるなよ!



みんなでたくさん植えました!!

大きく元気に育ってね!



倒れないように、しっかり植えよう!

また見に来るよ!



- 皆さんそれぞれに思いを込めて、丁寧に約1000本の松が植えられました。千歳山の松林がこの先もずっと続きますように。。

- 植樹祭のあとは、小学生を対象に森林教室を行い、近くの散策路を歩きながら植物の観察をしました。
- 初冬の千歳山は、だいぶ落葉して周りの見通しがきくようになっていましたが、だからこそ、実のついている樹木を見つけやすかったり、落ち葉を拾って観察したり、草木の冬越しの様子を観察することができました。



このマツは病気にかかって枯れてしまったのです。

- 散策路の途中では、マツノサイセンチュウによって枯れてしまったマツを見たり、病気の拡大を防ぐためにどのような処理を行っているのかを実際に見てもらいました。
- 時間が短く、子どもたちからは「もっとやりたい!」という声もきかれましたが、千歳山を身近に感じるきっかけになったと思います。



また是非、千歳山へ遊びに来て、もっともっと色々な発見をしていただければいいなあと思っています。

この枝、何かかおりがああるよ!



中の皮はあおみどい色をしているね!

